



行ってきました 海外体験記

Aucklandでの一か月

総合科学部自然システム学科
生命・環境コース4年
谷 沙織 たに さおり

2006年の2月中旬から1か月間、徳島大学短期英語研修プログラムに参加し、ニュージーランドのオークランドでホームステイをしながらオークランド大学のEnglish Language Academy(ELA)という語学学校に通いました。

この1か月間の中で最も緊張したのはステイ先の人と初めて出会う瞬間でした。何回もシミュレーションしたはずの自己紹介のフレーズも震える声でたどたどしくしか言えませんでした。

ステイ先でお世話になったファラはとても親切な人で、「あなたは英語に慣れるためにここに1か月いるのだから、恐れて黙ってないでいっぱいしゃべると勇



ステイ先の人とルームメイト

気づけ、落ち込んでいるときには「明日はもっとよくなるよ」と言って常に気持ちを明るくしてくれました。

私と同じ家にホームステイしていたのは台湾人の女性でした。彼女も私も英語が得意でなかったため、英語の発音のずれから会話が伝わらないことがしばしばありました。それを苦しく思った日もありましたが、冗談を言って二人で笑っていると自然と気にならなくなりました。持参した茶道セットで抹茶をたてて飲んだり、台湾のお菓子でティータイムをしたり、お互いの国の地図を広げ、辞書片手に会話していた日々をととても恋しく思います。今でもメールで近況を報告しあっていて、この交流をずっと続けていきたいと思っています。

ELAでは、私と同じように大学の春休みを利用して短期留学に来ている学生は多く、通学に使うバスカードやバスルート、電話のかけ方などはELAに長期間いる学生が親切に教えてくれました。学校の授業は、午前中はレベル別クラスに分かれて勉強しました。せっかくの機会だと思い、グループディスカッションでは中国人や韓国人に積極的に話しかけました。午後からは自分の興味のある授業を選択

するので、私はマオリ文化（マオリというのはニュージーランドの先住民のことです）の授業を選んで、英語を通じてマオリの慣習や言語を学びました。

金曜日の午後から土日にかけての週末は学校も休みで、少し離れた島に海水浴に行ったり、オークランドの街を散策したり、近所の公園で馬と遊んだり、趣味のスキューバダイビングをしたりもしました。思い出深いのは学校で知り合いになった友達を含む4人でのノースランドへの旅行です。レンタカーを借り、ドミトリーに泊まって過ごした2泊3日の旅は友情を深め合ういい機会となりました。

この1か月間、異国の地で自国との違いに驚きつつも感動し、違う国で育ってきた人達と同じものを見聞きして、時に違った見方をしたり、あるいは同じ気持ちになることを興味深く感じました。たくさんの人と出会い、さまざまな体験をして学んだことはこれからの私の人生で大いに役立っていくと思います。



近所の公園で



オークランド博物館



ワイヘキ島からの景色



スカイタワー